

飛躍

HIYAKU
第 396 号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日 / 2020年3月1日

●発行者 / 東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

卒業おめでとう!!

TOP*NEWS

高校・中等部第3学年 総長賞・総代・各賞受賞者決まる

柔道部 男子個人(2年 石間君、中村君)全国大会出場決定!

高
校

東海大学総長賞
6組 中村 水音



卒業生総代
4組 羽田 実春



東海大学生徒会功労賞
8組 秋澤 雄生



優等賞
10組 大橋 瞳子



3力年皆勤賞(代表)
4組 今野 ゆい子



中
等
部

東海大学総長賞
B組 荻上 舞



卒業生総代
B組 結城 琴音



東海大学生徒会功労賞
B組 松木 遥佳



優等賞
A組 金子 鈴佳



3力年皆勤賞(代表)
A組 鈴木 絵怜奈



2019年度 中・高卒業生各賞受賞生徒

表紙に掲載しました東海大学総長賞、卒業生総代、東海大学生徒会功労賞、優等賞、3カ年皆勤賞代表の各賞受賞者を卒業証書授与式当日に表彰します。また、卒業証書授与式前日の「3年生を送る会」で以下の25名と2団体の日頃の努力に対して表彰します。

高 校

東海大学奨学生



10組 石川 伸之介

東海大学特別奨励推薦(代表)



7組 粕谷 宗吾

3カ年精勤賞(代表)



10組 鈴木 優太

1カ年皆勤賞(代表)



7組 平尾 優和

1カ年精勤賞(代表)



8組 國分 康徳

東京都知事賞



1組 藤井 一志

日本私立中学高等学校連合会賞



4組 中山 菜

東京都私学財団奨励賞



5組 黒田 大貴

東京都私学財団文化・スポーツ活動賞

吹奏楽部

東京都体育協会優良生徒



1組 豊田 隼



3組 山口 舞緒

東京都高等学校文化活動優良賞



2組 柴田 愛海



9組 関根 アクセル摩周

東京都高等学校体育連盟柔道賞



4組 佐藤 七海



5組 石村 健真

東京都高等学校野球連盟賞



2組 木下 優成

東京都高等学校軽音楽部連盟賞



3組 小嶋 健太郎



5組 宮下 温

東京都高等学校ソフトテニス部連盟賞



6組 細川 優輝



9組 山崎 祐馬

高校生新聞社賞

ダンス部

中 等 部

3カ年精勤賞(代表)



B組 野村 怜詩

1カ年皆勤賞(代表)



A組 井上 夏菜

1カ年精勤賞(代表)



A組 大井 美由希

日本私立中学高等学校連合会賞



B組 鈴木 杏衣

東京都体育協会優良生徒



A組 岩田 果歩



B組 篠田 圭佑

※その他の各賞受賞者は「卒業証書授与式」冊子をご参照ください。

2020年2月21日現在

卒業する皆さんへ

令和初の卒業生の皆様へ

廣田 雅音

生徒会会長 2年10組



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

希望を胸にこの高輪台の門をくぐってから早3年が経ち、先輩方は今、高校生活をどのように振り返っていらっしゃるでしょうか。

思えば私たちは、先輩方にたくさんのことを学ばせていただきました。登下校や廊下での素晴らしい挨拶や清潔感のある身だしなみをなさっている先輩方の姿が、高校生としての在り方をそっと教えてくださっているようで、私たちはいつも先輩方をお手本にさせていただいてきました。これからは、私たちが学業面や部活動においても、先輩方の残してくださった功績を守り、何事にも全力で取り組む姿勢をしっかりと継承してまいります。

最後になりますが、これから先輩方は、夢と希望を抱いてそれぞれの道に進まれることと思います。どうか自分の力を信じてそれぞれの場所で、輝く未来を築いていけますよう、皆様のご健勝とますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

限りある「時間」を楽しむ

藤方 雅志

後援会会長



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが入学してからの3年という時間は、あっという間に過ぎたのではないのでしょうか。人は「時間」という限りのあるものの中で、日々の生活をし、時間が足りないと思う人もいれば、勉強をして

いる時間は長く感じる人もいるでしょう。3年という時間のなかで、将来の夢や目標が明確になった人は、今やらないといけないこともおのずと見えていることと思います。一方で、まだ将来の夢や目標が定まらず、今何をしたらいいのか悩んでいる人も多いと思います。思い出してください、授業でよく理解できない場合でも、全部書き写し、後で考えようと思ったことがあると思います。人生も同じです。今目標が定まらないなら、大きく目を開き、耳を傾け、経験し、感じ、学び、そこから得る。その繰り返しのなかでいつか自分にとって、必要だと思えるものが見えてきます。限られた時間のなかで本当にしたいことは、せいぜい2つか3つできればよいのです。皆さんは、これからも無限の可能性を秘めた時間を大いに楽しんでください。

得意技を身につけよう!

竹中 輝夫

部活動後援会会長



卒業する皆さん、おめでとうございます。

3年前の入学式で私は皆さんに「付属校のメリットを活かし、放課後の時間を自分の得意分野を探し、伸ばす時間に使ってください」とお願いしました。皆さんは実行できましたか?

自分の得意分野を持ち、スペシャリストになることが、これからの社会では重要になります。

高度成長期、工業化社会の日本では「大量生産、大量消費」を国内で実現してきました。しかし今はIT、IOT、AIの時代。モノづくりは中国、ベトナム、インドが中心となった現在、国内の多くの企業が求めているのは創造力、企画力、提案力を備えた人材です。最近では自ら起業する人(スタートアップ)も増えています。

高校で、自分の得意分野を見極め、大学で得意分野を深掘りし、時代に即したスペシャリストになる。企業も終身雇用は約束できないと公言し始めている時代。一つの会社に縛られることなく、飛躍するためにも「得意分野」を身につけることに、積極的に取り組んでください。皆さんの、今後の活躍を期待しています。

卒業する皆さんへ

内村 宏幸

高輪会会長



卒業生の皆さん、ご卒業本当におめでとうございます。皆さんは、この3年間で、よく学び、よく鍛え、立派に成長されました。これからは、それぞれの進路に向かって人生を歩んでいきますが、同じ学校で学び、卒業した同級生は皆さんの掛け替えのない友です。だからこそ、その友との絆を大切にしてください。

これから先、幾多の困難とぶつかる時もあるでしょう。一緒に学んだ友の励ましや、たった一通のメールの助言が人生を変えるかもしれません。このような真心の励ましは、消えない声となって心に響き続けることと思います。さらには、皆さんがどんな逆境にあろうとも、保護者の皆さんは、いつも味方となって見守ってくださっていることも、どうか忘れないでください。そして、最後の最後まで希望を忘れず、何があっても負けない人生の勝利者となることを心から願っております。皆さんは本校を卒業し、同窓会高輪会の仲間となります。どうぞ卒業後も、同級生とのコミュニケーションの場として高輪会を活用してください。最後に、卒業生の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げるとともに、希望を胸に、自己の目標を達成させてください。

2019年度 卒業記念品紹介

高等学校第71回、中等部第11回の卒業記念品として、以下の物を贈呈していただきました。

●印刷機 2台 ●シュレッダー 1台

ICTを利用した授業を進めている本校においても、プリント等の教材・資料は欠かせないものです。また、そういった資料の廃棄にも細心の配慮が欠かせません。大切に使用していただきます。卒業生の皆様、本当にありがとうございました。



後援会より建学祭収益金(バザー・けやき屋食堂)を寄付していただきました

10月14日(月・祝)一日だけとなった建学祭でしたが、今年も後援会の皆さんに「バザー・けやき屋食堂」を開いていただきました。収益のうち、60,000円を日本私立中学高等学校連合会が運営する「私学ボランティア基金(私立学校が災害を被った際の救援活動のための基金)」に、残りの559,173円を学校に寄付していただき、記念品を購入させていただき予定。本校の教育環境充実のためにご協力いただき、心より感謝申し上げます。

ハワイ・カナダ中期留学.....留学生体験記

ハワイ中期留学(SHIP) 体験報告

3年10組 佐藤 透

今回のハワイ中期留学には、英語力の向上・留学への興味・異文化の体験・他付属校生の交流を目的に参加しました。参加校は10校、参加者は26名で50日間の共同生活をしており、現在、日程の半分を終え、後半戦に突入しています。

初めは困惑しましたが、それぞれの部屋の特徴が出てきました。授業以外でも毎日のように英語を使用しているため、日常生活程度の英語なら自然と話せるようになりました。休日は現地のスーパーで買い出しをするので、バスのルールやスーパーでの買い物など異文化のルールを全身で体感しています。この留学で知り合ったメンバーとも仲良くなり、楽しく過ごしています。

残り日程も半分になりましたので、一日一日を大切にしたいです。



カナダ中期留学 体験報告

3年1組 石川 聖都

思い切って留学してみた結果、とても良い経験ができた。カナダは冷凍室のように寒かった。現地校の授業は選択制だった。授業の一環でボランティアとして売店で店番をした。栄養学の授業では健康に良い食材に関して学び友人もできた。現地校の学生たちは自主的に発言し、自らの将来を見据えていることに対して驚きを感じた。先生方も生活面や将来のことなどについて聞いてくださり、いろいろな会話ができた。日本から遠く離れた異国で声をかけられ、親切にされると心にしみる。学校に限ったことではなく、通行人の方や店員さんも私のたどたどしい英語でもしっかりと聞いてくれて質問に応じてくれた。自分もそういう人になりたいと思った。人生を充実ある豊かなものにするためには、「根気と努力」が必要だと痛感した。留学では自分の知らない世界を知ることができるが、それと同時に自分を知る大きな一歩ともなった。最後に、お世話になった多くの方々へ感謝をしたい。



極寒のナイアガラ

SSH活動報告

ファミリー・スーパーサイエンス教室を開催(1月13日)

48組の小学生およびその保護者を対象に、各学年のSSH委員による体験実験コーナーと藤城武彦先生(理学部物理学科教授)による科学講座を開きました。



2年10組 深川 真規

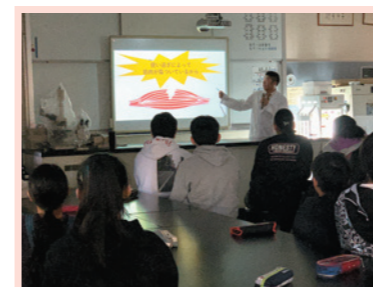
ファミリー・スーパーサイエンス教室は近隣の小学生に科学に興味を持ってもらうために行う科学教室です。小学生が学ぶことはもちろんですが、教える側の高校生も学ぶことが多くありました。小学生は白衣を着ている集団に恐怖を覚えたのか、積極的に話そうとする子が少なかったように思います。そこで高校生が積極的に会話を仕掛けてみるなどのアプローチをする必要がありましたが、高校生側が緊張してしまい、うまく話すことができないことがありました。

このような出来事から、科学教室は科学に関する知識が備わっていても、それに対して興味を持たせる話をする力、小学生と対話しやすい環境を作り出す力などが必要であることを実感することができました。

今回は小学生との対話を意識し、科学をより楽しんでもらえるよう改善し、計画を立てていきたいと思えます。

小学生を対象にしたサイエンスコミュニケーター活動を実施(1月30日)

港区立高輪台小学校6年生を本校に招き、酸化還元反応やダイラタンシー現象、人間の身体についての授業を披露しました。



3年10組 萩原 大我

サイエンスコミュニケーター活動は地域の小学6年生に科学のおもしろさを教える活動です。各々の班が生物や化学などの異なるテーマで、おもしろい現象や反応についての発表を行います。今まで私たちは、もともと科学の知識を持っている人たちが科学に興味がある人たちにに対してしか発表を行ってきませんでした。しかし、今回は小学生に向けての発表だということで、予備知識の備わっていない子どもたちにどのように教えればいいのかを考える必要がありました。そこで、まず発表をする際に小学生たちが理解しやすいように、専門的な用語を使わないように気をつけました。さらにその上で興味を持ってもらえるように、すべての発表で実験を行うようにするなど、普段とは違う点に気をつけました。

当日、小学生が楽しそうに笑っていたのを見てとても安心しました。このような活動を通じて科学に興味を持ってくれる人が増えてくれるよう、これからも精進していきたいと思えます。

再度の訪問で研究の進捗を報告(1月31日/大分県日田市)



2年10組 石橋 あつか

今までポスター発表をさせていただく機会は何度かありましたが、今回の日田高校SSH成果発表会では初めて大勢の前で自身の研究について口頭で発表させていただきました。1年前に日田を訪れたときは私のほかにも高輪台の生徒がいましたが、今回は一人で発表しなくてはなりません。一人では心細く不安でしたが、開会前に日田高校の友人たちと1年ぶりに再会することができ、とても嬉しく安心しました。本番では友人たちのおかげもあって、緊張しつつも楽しみながら発表を終えることができました。反省点は多々ありますが、貴重な経験をさせてもらえました。

最後になってしまいましたが、実験をサポートしてくださった山田先生、直前まで指導してくださった野口先生など、多くの方々のおかげで発表会に参加させてもらえたと思っています。この経験を無駄にしないようにしていこうと思えます。

ポスター発表会とコウノトリの郷公園での実習に参加(2月8日~9日/兵庫県豊岡市)



2年10組 構 理雄

私たちは兵庫県豊岡市で行われた豊高アカデミアと兵庫県立コウノトリの郷公園の見学に参加してきました。兵庫県豊岡市は日本海に面している自然豊かな場所です。豊高アカデミアには各校の生徒や地元企業、大学生などが多数参加していて、とても活気があふれていて課題実験を進めていく上でたいへん有意義なものとなりました。現地の高校では木からヨーグルトを作るなど、豊岡の自然を生かした実験や研究が行われており、どれも興味深い内容でした。

コウノトリの郷公園の見学ではコウノトリの生態や現在抱えている問題について学ぶことができました。コウノトリは農業の使用や乱獲により野生では1971年に絶滅してしまっています。以来、官民一体となって個体数を増やす努力をしており、現在は順調に数を増やしています。こうした活動を後押しするためには、私たちがこうした問題を理解することが重要であると考えさせられました。

SSH活動速報

2月 8日	サイエンス基礎	脂肪酸・油脂の構造や反応に関する講義の実施
2月 12日~	探究活動I	中間発表会の開始(全3回)
2月 17日	課題実験	科目内発表会の実施
2月 19日	サイエンス基礎	小林美佳先生(ライオン(株)) 他4名による界面活性剤に関する講義と実験の実施
2月 25日	課題実験	全体発表会の実施
2月 26日	サイエンス基礎	ライオン(株)研究開発本部(江戸川区)の見学と研究者との交流

学年だより 中1

Tokyo Sightseeing Tour

2月3日、Tokyo Sightseeing Tourに行ってきました。18班に分かれてネイティブスピーカーの先生と一緒に皇居、東京スカイツリー、サンシャイン水族館を散策しました。英語でコミュニケーションをとることは難しかったようですが、とても良い経験ができたみたいです。

A組 岩本 将明

Sightseeing Tourで外国の人とのコミュニケーションの取り方や会話の仕方。礼儀作法などを学びました。例えば「What did you eat?」に対する返答や、「Going downstairs?」と質問したりなどたくさん話しました。僕はこれを通して外国の人に話しかけられたら、自分は積極的に対応しなければならないということを知りました。またSightseeing Tourでは外国の先生との交流や英語を学ぶということだけでなく、改めて日本文化についても知ることができました。例えば、皇居にて歴史上の偉人である楠木正成について学んだり、東京スカイツリーでは東京の地形について学びました。いつか外国の方を案内するときにこれらの経験を生かし、活用できたらと思います。

B組 石渡 葵

このツアーで印象的だったことは、先生との会話がすべて英語だったことです。1日中ずっと英語しか使わないで生活するのは初めてで緊張しました。先生に質問されたときに聞いたことのある単語で意味がわからないものや、聞いたことすらない単語がたくさんあり、家で調べてみたいと思いました。1つ自分から質問できたのが「What is your favorite character?」で、1つだけですが質問できてよかったです。今回のSightseeing Tourで英語の大切さに改めて気づきました。これからはちゃんと英語を学習してわからないことは自分で調べて、もっと英語の知識を深めていきたいです。

A組 久保木 太陽

今回のSightseeing Tourでは、外国人の先生と一緒にさまざまなスポットをまわりました。今までこんなに英語をしゃべったことがなかったので、とても勉強になりました。英語は机での勉強も大事だけれど、何より外国の人としゃべることが一番成長することがわかりました。特に東京スカイツリーでは、スカイツリーの高さの話や上から見える学校の数などいろいろな話をしました。バスの中でも好きな食べ物を聞いたり、たくさんコミュニケーションをとれたのでよかったです。これから外国の方に自分から積極的に話しかけていこうと思います。今後オーストラリアなど海外に行く機会もあると思うので、習った単語を使って話していきたいです。

B組 中原 煌太

僕が一番印象的だと思ったことは、東京スカイツリーのエレベーターです。とても速いスピードで上がっていくのが印象的でした。英会話ではネイティブの先生とコミュニケーションを取ることが難しかったです。話す言語が違うだけでこんなに難しいのだと実感しました。話すことはできたけど、聞き取ることがとても難しく感じました。僕は英語が好きなので、さらに学習して実用ができればいいと思います。今後、道で外国人に声をかけられたら簡単に答えられるように英語を学んでいきたいです。高校を卒業するまでに英語検定準一級取得を目標とし、自分の夢に向かって頑張りたいです。



学年だより 中2

1年を振り返って

2年生として学校生活を送るのは、あと1カ月になりました。各級長に、この1年間を振り返ってもらいました。それぞれ個性が強いクラスでしたが、どちらの級長も頑張ってくれていました。

クラスの団結

A組 森内 健史

僕は、このクラスの級長になってクラスを見たとき、元気があってとても活気あふれるクラスだと思いました。だけど元気が足りていたり、それを抑えることができていなかったりすると、うるさくて手が付けられなくなってしまいます。でも、いろいろな行事では最後になんとか団結ができ、クラスのチームワークがどんどん良くなっていて、今ではとても良いクラスになりました。

4月からは、新しいクラスですが、今まで同じだったメンバー同士はもう団結できると思うので、同じではなかったメンバー同士が仲良くなれるようにしたいです。そして、またクラスで行事に参加するときに一致団結をして、隣のクラスに負けないように頑張ります。また、負けてしまっても、一人ひとりが声を掛け合い、また団結して立ち直ることができるクラスにしたいです。

僕一人ではまだ何もできませんが、クラスを良くしようという意識を持ってクラスメイトが増えてきて、とても嬉しいです。最後の1カ月も、良いクラスの雰囲気を保てるように頑張ります。

級長として

B組 三上 晏黎

私はこの1年級長をやって、時間が過ぎるのが早く感じられました。

級長になってあまり級長らしい仕事とかできていないけど、「級長」という役を体験できてよかったと感じています。私が思うのは、普段前に立つことが少ない私が、少し前に立つことがあり、級長の体験ができたからです。

ですが、後悔していることがあります。それは、自分から積極的に仕事をしなかったことと、少し躊躇してしまいクラスメイトに声を掛けることができなかったことです。今まで目標を立てても、納得のいく結果を出せたことがなかったので、来年度は目標を立てたらきちんと達成して、自分に満足できるようになりたいです。

私のクラスはユーモアあふれる楽しいクラスで、B組の明るい雰囲気のおかげで気分が晴れることもありました。1年間級長としてクラスをまとめることができなかったのは心残りですが、人前に立つとはどういうことかわかり、普段はあまりできないことを体験できて良い1年になりました。



学年だより 中3

1年間部活動の部長として頑張ってくれたサッカー部、ソフトテニス部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、卓球部、陸上競技部の部長に、1年間の活動や学んだこと、楽しかったことを書いてもらいました。

サッカー部



野村 伶詩

僕は中等部サッカー部部長を務めました。その中で、メンバーをまとめることの難しさ、また一つのサッカーをみんなで作り上げることの楽しさを学ぶことができました。日々の部活動で部員一人ひとりが納得できるように案を提案していくのが、とても難しかったです。それに加え、そんな難しさを実感する中で協力し合い、一つのサッカーを作り上げることに楽しさを感じ、それを糧にしてこの部長というバトンを次の学年につなげられたのでよかったです。この経験を高校生活に活かしていきたいと思います。

ソフトテニス部

添田 太洋

僕はソフトテニス部の部長を務め、部員全体をまとめる大変さを経験しました。その中で僕はまわりに助けをもらうことが多くありました。部長として部員をまとめる時は、副部長や同級生に相談しながら手伝ってもらい、まとめることができました。そして、部員をまとめる大変さとともに仲間との団結力を深めることができました。つらいこともあったけれども、3年間ソフトテニス部を続けてよかったと思いました。



男子バスケットボール部



内田 皓

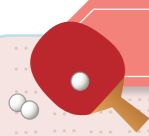
私は男子バスケットボール部の部長を務めました。最初は流れで入部したバスケットボール部でしたが、普段の練習以外にも朝練や自主練を積み重ね頑張ってきました。私が2年半のバスケットボール部で学んだことは、何事にも努力すれば夢は叶うことを学ぶことができたことです。この経験を糧に高校バスケットボール部に入部して、たくさん努力しバスケットも生活面も成長していきたいです。

女子バスケットボール部

江頭 一華

私は女子バスケットボール部の部長を務めました。今年度は区大会でベスト8を取ることができました。私たちがベスト8を取ることができた理由は、高校生と一緒に練習をしていたからだだと思います。私たちは最初まったく、まとまりのないチームでしたが、大会を経験していくうちに少しずつまとまりが出てきました。チームをまとめる大変さや大切さを知ることができました。女子バスケットボール部の部長になり、いろいろなことを学ぶことができて本当によかったです。

卓球部



小泉 直輝

卓球部は部員11名で活動をしてきました。私が1年生の時、2年生がいなくて苦しい状況の中でしたが、2年生になった時に新入生が6人入ってきました。そして、私が3年生の時、都大会にシングルスで出場することができました。みんなが応援に来てくれたおかげで、私の目標であった都大会で1勝することができました。その時、仲間の大切さを学ぶことができ、卓球部の3年間で一番の思い出を作ることができました。

陸上競技部



篠田 圭佑

私は陸上競技部部長を務めました。私は自信がなく、まわりをまとめることが苦手でした。しかし、部長となり「自分がしっかりしなければ」という自覚が芽生え、部員をまとめることができるようになりました。また、自信がなかった私に自信を持てるように声をかけてくださった顧問の先生方や、いろいろな面で支えてくれた部員に感謝しています。ありがとうございました。この経験を活かして高校でも陸上を頑張りたいです。

学年だより 高1

1年生も残すところ1カ月。今月号は、2020年度に向けた抱負を紹介します。

1組 佐藤 和輝

2020年度の抱負の1つ目は早寝早起き朝ごはんの徹底を目指すことです。中学の頃に比べ、登下校の時間が大きく変わりました。そのため、しっかりと早寝早起き朝ごはんを徹底して、次の日に支障が出ない生活リズムを手に入れたいです。2つ目は部活動と学業の両立です。私は部活動にばかり気が向きがちで、自分でもやろうと思ってもなかなか実践することができていないからです。3つ目は学校生活と私生活との両立です。息抜きするときは息抜きをして、本気でやるときは本気でやる。と、だらだらせずメリハリを持っていきたいです。

2組 平林 恵菜

2020年度の抱負は、まずは部活動を頑張りたいです。後輩が入ってくるので後輩に教えられるようにし、先輩としてあるべき姿を示せるようにしたいです。そして、大会では、個人戦でより高いところまで勝ち上がっていききたいです。次に、勉強です。私は、理系の教科・科目があまり得意ではないので、努力して得意にできるようにしたいと思っています。

3組 山田 貴大

2020年度に実践したいことは、①部活動の大会で優勝する、②良い成績を取る、③オリンピックを見に行く、の3つです。部活動の大会については、高校から始めた種目で優勝したいという気持ちがとても強いからです。学習では、基礎学力定着度試験という大学進学にかかわる大きなテストで良い成績を取りたいです。また、今年はオリンピックイヤーであり、一生に一回あるかないかの貴重な経験だと思うので、この目に焼き付けたいです。

4組 大塚 藍

私はこの1年で、よりテニスが大好きになったので、来年度は活躍ができるようになりたいという気持ちが強くなりました。それで、2020年度は、部活動の大会でレギュラー入りを毎回したいです。また、部活動だけになることなく、勉強も頑張っていきたいと考えています。2020年度は、文武両道を目指したいと強く思っています。

5組 仲田 すみれ

2020年度の抱負は3つあります。①部活動の大会で優勝すること、②今年度よりも成績を上げること、③早寝早起きを徹底することです。①は、大会に出場したことがないため、予選を通過して優勝したいです。②では、まず、2年生の基礎学力定着度試験で1年生のときよりも順位を上げられるようにしたいです。そして、生活習慣として、③の早寝早起きを徹底したいので、もう一度気を引き締めていこうと思います。

6組 高杉 奏葉

2020年度は、今以上に学力向上に力を入れたいと考えています。まずは、4月に実施される基礎学力定着度試験で良い結果を残したいです。そして、1年生のとき以上に部活動を頑張りたいと思っています。また、時間にゆとりがある時は、趣味を楽しみ、心を豊かにしていきたいです。

7組 川出 菜月

2020年度の抱負は、学力の向上です。まずは、基礎学力定着度試験で、できるだけ上を目指したいです。昨年は、思うように勉強ができない時がありました。その反省を踏まえ、来年度は計画的に学習を進めていきたいです。中でも、語学には力を注ぎ、今以上に英語が話せるようになればと思っています。

8組 佐久間 和奏

2020年度の抱負は、テストの点数を上げる、楽器の知識を向上させる、上級生の自覚を持つことです。1つ目は、1年生の学習状況を振り返り、手を抜いてしまった所があったので、できるだけ100%できるようにすることです。2つ目は、自分の楽器についてさらなる知識を深め、より良い演奏を目指していきたいです。そして最後は、1年生が入学してくるので、上級生の役割をしっかりと果たしていきたいと考えています。

9組 川原 園萌

2020年度の抱負は、1つ目は、勉強をおろそかにしないで自分の行きたい学部に行けるように、一歩でも近づけるように努力を続けることです。2つ目は、部活動で、バンドでの話し合いをしっかりと行っていき、さらなる技術の向上に努めて、合同ライブに何回も選ばれるようにしたいです。以前のバンドでの反省を生かし、リーダーとなった新しいバンドで頑張っていきたいと思っています。3つ目は、高校生の今しかできないことが多いと思うので、様々なことに「挑戦」をしたいと思っています。

10組 鈴木 尚輝

2020年度の抱負は、「強くなる」ことを目指したいと考えています。まずは、トレーニングなどを継続的に行い、フィジカル強化をしていきたいです。次に、学力の向上です。高校入学後、勉強に対する努力がおろそかになってしまった時期がありました。2020年度は学習時間を増やして、成績の向上を目指していきたいです。

学年だより 高2

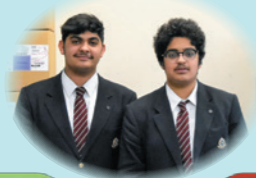
2年生になってからもうすぐ1年が経過しようとしています。この11カ月間、いろいろなことがありましたね。みんなの写真とともに振り返ってみたいと思います。



新しい仲間や先生との出会い——希望と不安が入り交じっていました



UAEからの留学生がドバイ国際博覧会 日本館のPRアンバサダーに就任!!



探究活動I (普通クラス)ではグループ活動が始まりました。SSH クラスも課題実験が本格始動!



保護者(三者)面談開始! どの学科にしようかな? 自分の成績は...



入試の運営を学年委員や有志の生徒がお手伝いしてくれました!



to be continued.....

学年だより 高3

卒業に向けて

3年生は、高校生活を過ごしたこの高輪台から、間もなく巣立ちの日を迎えます。これから歩いて行く道はみんな少しずつ違っていますが、仲間と過ごした日々の思い出を胸に、頼もしい第一歩を踏み出してくれることでしょう。今号では、「卒業に向けて」として各クラスの代表の人に卒業を控えた今の自分の気持ちを書いてもらいました。

1組 豊田隼

1組の男女の仲は最高だと思う…。くるとつらい時、笑い合う時、みんなで一緒に乗り越えてきた。だけど、時にはぶつかり合う時もある。いつも一緒にいるとそんな時もあるけれど、すぐに仲直りできる! わかり合える仲間ならいいかな? その人のいい所を見よう。♡みんな気付いたかな? 縦から読んでね♡

2組 三浦諒大

少し肌寒さも残る中、私たちの卒業の日が刻一刻と迫ってきているのを感じています。あっという間だった3年間。それは部活動での仲間やクラスの友達と楽しく充実した高校生活を送っていたからだと思います。陰で支えてくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。皆それぞれの道で頑張ろう、大人になった姿で会える日を楽しみにしています。

3組 向野翔介

卒業を控えた今、多くの人が大学に進学予定です。中学から高校に上がる時は、場所は違えど、やることは大きく変わらないので不安は少なかったですが、大学は今までは全く違う環境になるので、うまくやっていけるか不安です。しかし、同じ学部に行く友達や特別講座でできた友達がいるので、一緒に頑張りたいと思います。

5組 平方慎人

私たちのクラスは毎日が刺激的でした。さまざまなことに影響を受け、行動を起こせる良い仲間たちと巡り合えてよかったです。どの学校にもない唯一無二のクラスだったと思います。一人も欠けることなくここまで過ごせ、嬉しく思います。卒業後はバラバラになりますが、私たちの心は常にONE TEAMです!!

4組 森塚水香枝

高校での3年間は、私にとってかけがえない宝物になりました。新しいことに挑戦したり、初めてのことに悩んだり、日々奮闘してたくさんの方のアドバイスを学びました。その間、周りの友達や先生、家族に支えられてきました。本当に感謝してもしきれません。大学でも挑戦すること、感謝する気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。



7組 青木怜央

私たちはもう卒業を目前にしています。悔いを残さず卒業するために「やり残し」をなくしたいです。大学へ向けての勉強や、友達やクラスメイトとの思い出作りなど全力でやり切りたいと思います。そして、3年間通わせてくれた親や、たくさん見守っていただいた担任の先生などに感謝したいです。3年間ありがとうございました。

8組 國分康徳

私は1月になるまでは、まだ卒業するという実感はありませんでした。しかし、日が経つにつれて登校する日が少なくなっていき、卒業が近づいているのだと感じています。私にとっての高校3年間は本当にあっという間でした。それだけ充実していたのだと思います。大学は不安もありますが、残り少ない学校生活を大切に送っていきたく思います。

6組 原田珠羽

私は、高校3年間で勉強と部活動に励み、その中でたくさん学ぶことができ、自分を成長させることができました。そして、3年間の皆勤を達成し、自分のやりたいことを頑張ることができたことが嬉しかったです。やりたいことがある。それは生きる力になると思います。卒業後は自分が本当にやりたいことを大切に生きていきたいと思っています。

9組 徳満麗奈

残り僅かで、3年間通った高校を卒業します。正直卒業という実感はありません。3年間は本当にあっという間に過ぎてしまいました。たくさん思い出がありすぎて、つい忘れてしまっていることもありましたが、いろいろなことがあった3年間でしたが、全体的に思い出となって何十年か後に、またみんなで話せる日が来ればいいと思います。

10組 松下啓樹

10組はさまざまな個性を持つ人が多く、まとまりがないクラスになりそうと思っていましたが、最終的には、まとまる時はキチンとまとまり、個々の個性を消さない、良いクラスになりました。これは、建学祭などのイベントをクラスの皆で乗り越えることができたからだと思います。クラスの皆、3年間ありがとうございました。

お知らせ

第71回(高校)・第11回(中等部) 卒業証書授与式

●時間 3月8日(日) 10時開式 ●場所 本校アリーナ (地下3階)

※保護者の方は9時40分までにご着席ください。

— 高3 高輪会(同窓会)入会式 3月7日(土) —

東海大学付属高輪台高等学校の同窓生の組織として「高輪会」を運営しています。各学年の卒業生より高輪会役員を選出し、その中から執行役員を選出して活動しています。本校の教育活動及び諸行事に協力をすることはもちろん、東海大学傘下の高等学校とも情報交換し、親密なつながりを持って、同窓生の支援を行っています。

行事予定

March 3月

April 4月

- 2日(月) 後期期末試験(中1・2:~4日、高1・2:~5日)
- 5日(木) 海外研修報告会(中等部)
- 6日(金) 生徒自宅学習日
- 7日(土) 3年生を送る会(1時限目カット)
高輪会入会式(高3)
新入生制服採寸・教材販売(高校延納者)
- 8日(日) 第71回(高校)・第11回(中等部)卒業証書授与式
- 9日(月) 生徒休業日
- 10日(火) 答案返却
教科書販売(新高3)
- 11日(水) 生徒自宅学習日(~13日)
- 12日(木) 成績不振者指導
- 13日(金) 生徒休業日
- 14日(土) 特別授業(~17日)
- 18日(水) 特別授業(5-6時限カット)
- 19日(木) 修了式・離任式
教科書販売(新高2)
- 20日(金) 春分の日
- 21日(土) 新入生クラス分け試験(高校)
- 25日(水) 春期講習(中1・2:~27日)
- 28日(土) 後援会委員総会④

- 2日(木) 新入生登校日
- 3日(金) 第77回(高校)・第14回(中等部)入学式
- 4日(土) 始業式・対面式・就任式
- 6日(月) 健康診断・写真撮影(高1、中1)
オリエンテーション(高1:~9日)
特別時間割(高2・3、中2・3:~9日)
- 7日(火) 健康診断・写真撮影(高2、中2)
オリエンテーション合宿(中1:~9日)
- 8日(水) 健康診断・写真撮影(高3、中3)
- 10日(金) 学園基礎学力定着度試験(高校)
外部実力試験(中等部)
- 14日(火) 校医相談日① 校長による現代文明論
- 16日(木) 学年集会①(高3)、全校集会(中等部)
- 18日(土) 短縮授業 保護者会①(高2・3、中2・3)
- 22日(水) 新入生仮入部期間終了
- 23日(木) 学年集会(高2、中1)
- 25日(土) 短縮授業 保護者会①(高1、中1)
- 29日(水) 昭和の日
- 30日(木) 憲法記念講演(高1:1・2時限)

編集後記

今年は暖冬の影響で例年になく桜の開花の時期が早まりそうな気配だ。年度末となりよいよ3年生は卒業の時を迎える。卒業式は教育課程の全てを修了したことを認定する「終わり」の式であるが、アメリカではcommencement(コメンズメント)、「始まり」を意味する。本校でも多くの卒業生が学窓を巣立っていく。不安も多くあると思うが、新しい生活の始まりにあたりそれぞれの夢や目標に向かって歩いていってほしい。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>